



持続可能な学びに向けて

連日の猛暑への対応につきまして、保護者の皆様には急なお願いにもかかわらず、午前授業へのご理解やお迎え対応などにご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、日頃よりお子様の体調管理や安全確保にご配慮いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

本校では、猛暑対策としてハンディファン等の使用に関するお知らせを行うとともに、午前授業対応の前日にはコンピュータ室のエアコンを活用し、児童生徒のお弁当の保管環境を整えるなど、できる限りの工夫を重ねてまいりました。

限られた環境の中ではありますが、子供たちの健康と安全を守ることを最優先に、日々の教育活動に取り組んでおります。

こうした経験の中で改めて大切にしたいと感じたのは、「持続可能であること」です。学習でも運動でも、一時的に無理を重ねることは、かえって継続を難しくしてしまいます。寝食を忘れて努力するよりも、適切に力を配分し、長く続けられる努力こそが成果につながると言われています。心身の健康が保たれてこそ、本来の力を発揮し続けることができるのです。

子供たちの姿を見ていると、日々の小さな積み重ねの中で力を伸ばしていく様子が感じられます。暑さの厳しい日々の中でも、自分の体調と向き合いながら登校し、授業に向かう一歩一歩には、大きな価値があります。

本校の教育目標である「自ら学び、心豊かにたくましく 国際社会を生き抜く児童生徒の育成」は、まさにこのような「持続可能な取り組み」の中で行えるものです。無理を重ねるのではなく、自分に合った力の入れ方を見つけ、仲間とともに支え合いながら歩いていくこと。その積み重ねが、子供たちの確かな成長へとつながっていくと考えております。

開催が近づいてきた運動会についても同じです。すべての子供たちに元気に参加してほしいという願いのもと、子供たちには日々の体調管理も大切な準備の一つであることを伝えました。必要な休養・食事・水分補給をしっかりと取することは、決して特別なことではなく、学びを支える基盤であり、「持続可能な頑張り」を実現するために欠かせない要素です。自分の体調と向き合い、無理のない形で力を発揮できるようにすることもまた大切な学習の一つです。

日々の積み重ねの中で、自分にとって無理のない努力の仕方を身につけていくことは、勉学においても運動においても共通して求められる力であり、仲間とともに活動する喜びや達成感へとつながります。

そして、「持続可能な学び」こそ、本校の合い言葉「自立・貢献・気品」を体現するのに必要なことだと考えています。

今後も、ご家庭と連携しながら、子供たちが安心して学び続けられる環境づくりを進めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

= ロンドン日本人学校ニュース（6月の様子） =

6月は各学部で宿泊行事や校外学習が行われ、子供たちは体験的な学びを通して多くの成長を見せました。それぞれの活動の様子をご紹介します。

■ 中学部2年生 修学旅行（スコットランド）

中学部2年生は3泊4日でスコットランドへ修学旅行に出かけました。エディンバラ城やセントジャイルズ大聖堂、ロイヤルマイルの散策などを通して歴史や文化に触れました。さらに、バグパイプ体験や大学見学など、現地ならではの学びを通して、文化・地理・自然への理解を深めました。仲間とともに行動する中で、自立心や協調性も大きく育まれました。



■ 小学部6年生 修学旅行

小学部6年生は北イングランドとウェールズ方面への修学旅行を実施しました。あいにくの雨模様の中での活動となってしまいましたが、自然や文化に直接触れるとともに、陶器への絵付けなどの文化体験にも積極的に取り組みました。仲間と協力しながら活動する中で、自主性と協調性を高め、思い出深い学びの機会となりました。

■ 小学部5年生 自然体験学習

小学部5年生は2泊3日の自然体験教室を行いました。様々なアクティビティに挑戦し、頭と体をフルに使った活動を経験しました。共同生活では、自ら考え判断する力や、自分の役割に責任をもつ態度を養いました。子供たちは、達成感と心地よい疲労の中で、大きな成長を感じて帰校しました。



○学校公式ブログをご覧ください。

他の学年でも、自然観察や施設見学など、五感を使った学びを積み重ねています。これらの活動の様子は、学校公式ブログでも随時紹介しています。ぜひご覧いただき、ご家庭での話題としていただければ幸いです。

ロンドン日本人学校公式ブログ <https://londonjapaneseschool.blog.fc2.com/>

